

市町村指定文化財取材票 《表》

取材日	2023年	7月	17日	(記入者) 灰藤 健一	
取材参加者	秋山	大谷	河添	神野	仲
	灰藤	東辻			
取材対象先	香芝市：安遊寺の木造阿弥陀如来立像				

所在地	香芝市穴虫1103				
所有者(取材 対応者)名	安遊寺(安遊寺 住職夫人 * * *) (氏)(個人情報守秘)		連絡先：0745-76-5158(安遊寺)		
	PCアドレス				
取材申込	申込先・行政名など：香芝市教育委員会				
市町村 指定文化財	彫刻	1 軀	木造阿弥陀如来立像 1996(平成8)年3月12日指定		
	建造物	棟			
文化財指定理由	鋭く刻まれた衣文の写実的表現は鎌倉時代中期頃の特色を現わしており、面部も頬の肉どりは豊かで張りがあり精彩に富む表情を見せている。市内で唯一の快慶の作風を遵守した作例で、地域で大切に守り伝えられてきた。				

文化財の状況

	設備・対策・点検・通知方法など	記入者の感想
防火対策	消火器あり。消防車が入れるように近隣の道は広げられた。	特になし。
	被害の有無、対策など	記入者の感想
獣害対策	アライグマの被害はあり。	特になし。
保存～継承 へ 苦労と 今後の課題 と対策	本堂は、穴虫東のごぼう山にあった建物を、約700年前に移築したものである。その後、修復等はされている模様で、現在は特に大きな傷みは見られず、檀家の皆様の協力もあり、きれいに保存維持されている。	

取材を終えて感じた文化財保護状況と今後の課題(修復、維持、管理、環境など)

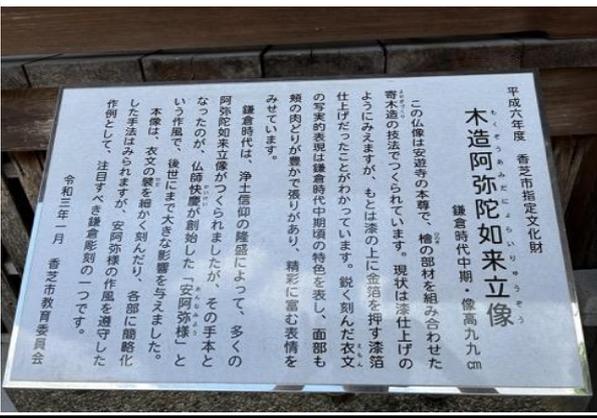
文化財を取り囲んでいる欄間や、背面の壁や柱は金箔で被われているが、これは35年前に修復されたもので、時は経過しているものの依然素晴らしい光沢を保持しており、観る者に感動を与えている。今回は住職はご不在であったが、取材にご対応いただいた夫人とともに、地域や檀家の皆様のために文化財の保護に積極的に取り組んでおられる。

市町村指定文化財取材票《裏》

取材日	2023年	7月	17日	(記入者) 灰藤 健一	
取材参加者	秋山	大谷	河添	神野	仲
	灰藤	東辻			
取材対象先	香芝市：安遊寺の木造阿弥陀如来立像				

〈写真撮影許可済み〉

文化財指定名 木造阿弥陀如来立像

<p>文化財（正面写真）</p>	<p>文化財（角度を変えて）</p>
	
<p>お寺の入り口外観</p>	<p>説明板</p>
	
<p>文化財の由緒などを記入</p>	<p>所有社寺や地域（廃寺等）の歴史や特徴を記入</p>
<p>本尊である阿弥陀如来立像はヒノキの寄木造り。現状は漆仕上げのように見えるが、元は金箔を押し漆箔仕上げ。仏師快慶が創始した「安阿弥様」（あんなみよう）という作風を遵守している。鎌倉時代は、浄土信仰の隆盛により数多くの阿弥陀如来立像が作られ、その作例の多くが来迎印を結んでおり、本像もその例に漏れない。</p>	<p>世襲制になってからの初代は、御所の浄宗寺の住職をされていたが当地に移ってこられた。現在の住職が4代目を継いでおられる。本堂の廊下には駕籠が天井から吊るされて保存されている。先々代の住職の時代は、檀家さんへ出向くときに使用されていたそうである。本寺の周辺は道幅が非常に狭く、曲がり角も多いが、駕籠であれば支障なく通行できたのだろう。</p>